PDピンニング
弾性G注入工法

タイル浮き補修時に弾性接着剤直接注入！

下地とタイル層間の**挙動に追従**し、従来工法より大幅な**耐久性の向上！**

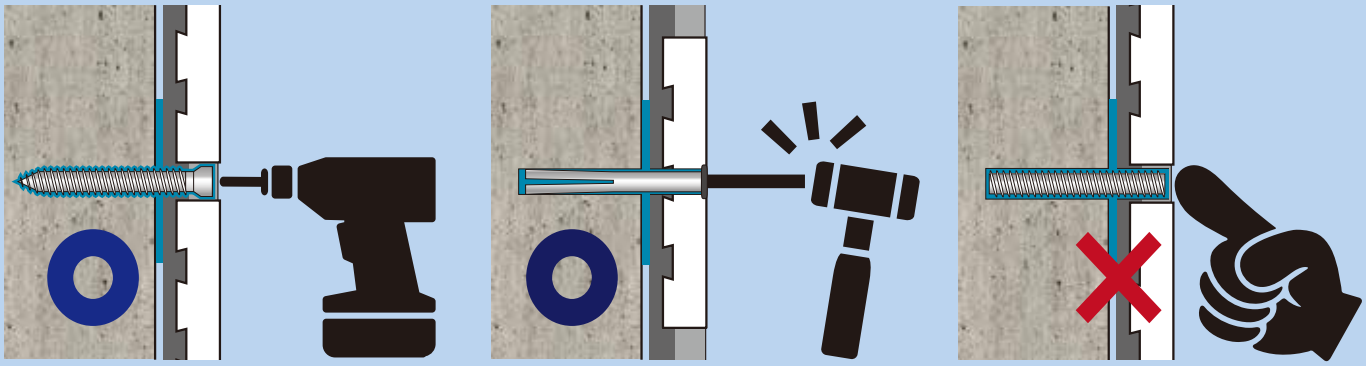
タイル張用弾性接着剤のメリットを生かしたまま**注入可能！**

皮膚かぶれの原因物質含有量を**大幅に削減！**

アサヒボンド工業株式会社
ASAHI BOND KOUGYOU KABUSIKIGAISYA

PD ピンニング弾性 G 注入工法とは

PD ピンニング弾性 G 注入工法は、従来の注入用エポキシ樹脂を弾性 G に置き換えるだけでは成立しません。
一般的なアンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法で通常使用する全ネジピンを、PD ピン（または注入口付アンカーピン）に置き換える必要があります。
PD ピンを使用することにより、注入材の内圧による漏出を抑止します。また、ピンの浮き上がりが無く手離れが早いです。



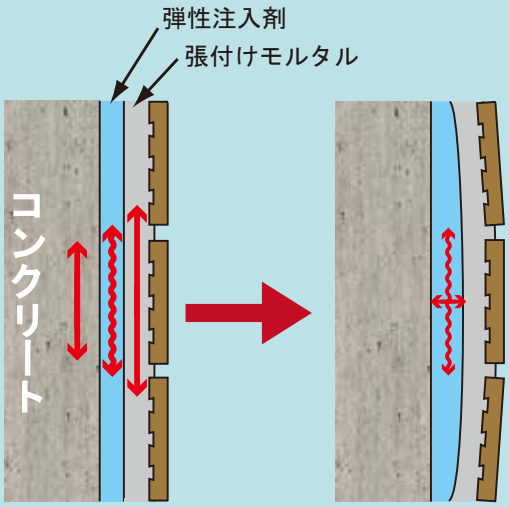
PD ピン使用　　注入口付アンカーピン　　全ネジピン

弾性 G は、硬化しても柔らかいゴム状の物性を保つので、エポキシ樹脂のようにピンを固着させる力がありません。
このため、ピン独自の機械的固定力が求められ、全ネジピンは使用できません。
PD ピンと弾性 G を併用した工法が「PD ピンニング弾性 G 注入工法」です。

※PD ピンニング工法、及び弾性 G はアサヒボンド工業（株）の特許工法・特許製品です

弾性 G による注入のメリット

弾性 G が躯体・張付けモルタルの歪差に追従することにより浮き・はらみによるタイルの剥落を防止します。
また、温度による物性変化が少ないので、真夏や真冬の施工でも安定した性能を発揮します。



—使用材料—

アサボン弾性 G 3.3kg セット
（1 箱 2 セット入り）

PD ピン φ4×32 ㎜ ×500 本
ドリルビット 3 本付

	性　状	
	主　剤	硬化剤
種　類	変性シリコン・エポキシ樹脂系接着剤	
外　観	白色ペースト	黒色液体
混合比（質量）	主剤：硬化剤＝10：1	
密度（g/㎤）	1.27	1.01
混合後の粘度	75Pa・s	
混合後のT.I値	6.0	
指触乾燥時間	360 分（23℃）	

材　質	ステンレス鋼
サイズ	径 4 ㎜ 頭部径 4.5～4.8㎜
コンクリート引き抜き耐力	注入材無し 2098N/ 本 （躯体へのピン埋込深さ＝20 ㎜）

※弾性 G1 箱（2 セット）と PD ピン 1 箱（500 本）のセット販売限定となります。
詳しくは各販売店、またはアサヒボンド工業（株）までお問合せ下さい。

ASAHI BOND
アサヒボンド工業株式会社
本　　社 〒173-0031 東京都板橋区大谷口北町 3 － 7
TEL(03)3972－4929(代)　FAX(03)3972－4856
新座工場 〒352-0012 埼玉県新座市畑中 2 丁目 16 番 43 号
TEL(048)482-6611(代)　FAX(048)482-6610